



平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 池田 辰雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 田中 慶壽

TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	20,795	△48.7	△1,822	—	△1,985	—	△2,058	—
21年3月期第3四半期	40,548	—	769	—	694	—	440	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△14.03	—
21年3月期第3四半期	3.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	38,892	17,498	45.0	119.30
21年3月期	40,961	19,721	48.1	134.43

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 17,498百万円 21年3月期 19,721百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,700	△41.1	△2,150	—	△2,200	—	△2,600	—	△17.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 146,876,174株 21年3月期 146,876,174株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 207,867株 21年3月期 166,915株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 146,703,013株 21年3月期第3四半期 146,724,327株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成21年4月28日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。

(2) 業績予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご理解ください。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や経済対策の効果に加え、中国向けを中心とした輸出の拡大などから、自動車や電子・デバイス分野など一部産業分野では生産規模は底を打ち、回復傾向を示してきました。一方では個人消費や設備投資が低水準で推移していることや雇用環境もまだ回復基調にないことなどから、全体としては依然厳しい状況となりました。また、こうした経済環境の中で、同期間における日本の粗鋼生産量は6,994万トン（前年同期比20.4%減）、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は1,088万トン（前年同期比32.1%減）と前年同期に比べて減少いたしました。

このような環境下で、当社グループは最大限の売上確保に取り組み、売上高は特殊鋼、鋳鉄、金型・工具分野とも第1四半期を底に増加傾向となりましたが、連結累計期間合計では厳しい需要環境の中で前年同期比で減少いたしました。損益面でも固定費の削減などの緊急収益改善策の推進に全社を挙げて取り組み、第1四半期を底に改善傾向にあります。連結累計期間全体としては依然厳しい状況となりました。当第3四半期連結累計期間の業績は売上高20,795百万円（前年同期比48.7%減）、営業損失1,822百万円（前年同期は769百万円の利益）、経常損失1,985百万円（前年同期は694百万円の利益）、当期純損失2,058百万円（前年同期は440百万円の利益）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

[特殊鋼]

自動車向けやハードディスク用に加え、輸出向けの拡大などで売上高は第1四半期を底に回復基調にはありますが、連結累計期間の売上高は依然厳しい需要環境の中で16,611百万円（前年同期比49.2%減）と減少いたしました。また営業利益につきましては、価格低下に伴う原材料コストの減少や労務費をはじめとした固定費の削減効果があったものの、数量の減少や販売価格の低下などにより1,642百万円の営業損失（前年同期は440百万円の利益）となりました。

[鋳鉄]

受注拡大への取り組みなどにより、売上高は第1四半期を底に増加傾向となりましたが、主力分野である自動車関連や建設機械向けなどの数量減少などにより、連結累計期間では3,172百万円（前年同期比46.2%減）と減少いたしました。営業利益につきましては、前年同期に比べ悪化いたしました。売上高の回復や労務費をはじめとした固定費削減や原材料コストの削減などにより、第3四半期では黒字を確保し、連結累計期間では1百万円の営業損失（前年同期は273百万円の利益）とほぼ収支ゼロレベルとなりました。

[金型・工具]

主力の金型部品が自動車向けなどで緩やかながらも受注が回復してきておりますが、全体としては需要低迷の中で、売上高は1,011百万円（前年同期比48.7%減）と減少いたしました。また営業利益につきましても固定費をはじめとした費用削減に努めたものの、177百万円の営業損失（前年同期は55百万円の利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は受取手形及び売掛金の減少155百万円、たな卸資産の減少1,590百万円、有形固定資産の減少479百万円等により38,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,068百万円減少しました。

負債合計は支払手形及び買掛金の減少698百万円、短期借入金の増加2,361百万円、退職給付引当金の減少303百万円等により21,394百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円増加しました。

純資産合計は四半期純損失の計上2,058百万円や配当金の支払による減少220百万円等により17,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,223百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.1%から45.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ272百万円増加し、507百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却費1,365百万円、売上債権の減少155百万円、たな卸資産の減少1,590百万円等により増加した一方、税金等調整前四半期純損失2,056百万円、仕入債務の減少587百万円、退職給付及び役員退職慰労引当金の減少300百万円等により減少した結果、603百万円の支出（前年同期は1,095百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出1,171百万円等により、1,200百万円の支出（前年同期は941百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入2,361百万円による増加、配当金の支払額220百万円による減少等により、2,076百万円の収入（前年同期は788百万円の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

需要環境全般は自動車向けや電子材料向けなどで回復基調にありますが、その回復度合いは緩やかであります。こうした状況のもと、業績の見通しは、特殊鋼事業について前回予想からは数量減による減収、ニッケルなどの原材料価格アップによる減益が見込まれます。一方で鑄鉄事業が売上高、損益とも改善する見込みであることから、連結業績については、平成21年4月28日に公表した予想から、売上高28,700百万円、営業損失2,150百万円、経常損失2,200百万円、当期純損失2,600百万円に修正しております。当社グループとしては受注拡大に向けた取組みを一層強化し、特殊鋼事業を中心に数量拡大を目指すとともに、固定費削減などの緊急収益改善策を着実に推進し業績改善に取り組んでまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(税金費用の計算)

税金費用については、従来、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、親会社との会計方針の統一を目的として、第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法により計算する方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118	125
受取手形及び売掛金	5,114	5,270
製品	3,214	3,691
仕掛品	4,806	5,019
原材料及び貯蔵品	3,776	4,676
その他	541	477
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	17,566	19,255
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,869	7,402
土地	8,507	8,507
その他(純額)	4,567	4,514
有形固定資産合計	19,944	20,423
無形固定資産		
投資その他の資産	117	118
投資有価証券	940	844
その他	365	351
貸倒引当金	△42	△32
投資その他の資産合計	1,264	1,163
固定資産合計	21,326	21,706
資産合計	38,892	40,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,966	5,665
短期借入金	7,302	4,940
未払法人税等	23	4
賞与引当金	94	306
その他	2,060	3,159
流動負債合計	14,448	14,077
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,370	2,370
退職給付引当金	3,640	3,944
その他の引当金	51	48
その他	883	799
固定負債合計	6,945	7,162
負債合計	21,394	21,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	△738	1,540
自己株式	△28	△25
株主資本合計	16,630	18,913
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133	74
土地再評価差額金	734	734
評価・換算差額等合計	867	808
純資産合計	17,498	19,721
負債純資産合計	38,892	40,961

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	40,548	20,795
売上原価	36,354	20,177
売上総利益	4,193	617
販売費及び一般管理費	3,424	2,439
営業利益又は営業損失(△)	769	△1,822
営業外収益		
受取配当金	33	11
受取賃貸料	27	23
助成金収入	—	196
その他	143	90
営業外収益合計	204	322
営業外費用		
支払利息	78	55
売上債権売却損	55	24
出向者人件費負担金	62	43
休業費用	—	244
その他	81	117
営業外費用合計	279	486
経常利益又は経常損失(△)	694	△1,985
特別利益		
貸倒引当金戻入額	41	—
特別利益合計	41	—
特別損失		
固定資産処分損	59	57
投資有価証券評価損	2	—
ゴルフ会員権評価損	—	12
特別損失合計	62	70
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	673	△2,056
法人税、住民税及び事業税	—	13
法人税等調整額	—	△10
法人税等合計	232	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440	△2,058

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	673	△2,056
減価償却費	1,430	1,365
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△565	△300
売上債権の増減額(△は増加)	2,253	155
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,011	1,590
仕入債務の増減額(△は減少)	717	△587
その他の資産・負債の増減額	△455	—
その他	—	△916
小計	2,042	△748
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△947	145
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095	△603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,028	△1,171
利息及び配当金の受取額	41	13
その他	46	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△941	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,361
短期借入金の返済による支出	△60	—
長期借入れによる収入	—	49
長期借入金の返済による支出	△133	△36
リース債務の返済による支出	—	△19
自己株式の取得による支出	△2	△3
配当金の支払額	△513	△220
利息の支払額	△78	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788	2,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△634	272
現金及び現金同等物の期首残高	1,171	235
現金及び現金同等物の四半期末残高	537	507

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	32,681	5,895	1,972	40,548	—	40,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	218	25	20	264	(264)	—
計	32,899	5,920	1,992	40,812	(264)	40,548
営業利益	440	273	55	769	—	769

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	16,611	3,172	1,011	20,795	—	20,795
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	96	11	13	120	(120)	—
計	16,707	3,184	1,024	20,916	(120)	20,795
営業損失(△)	△1,642	△1	△177	△1,822	—	△1,822

(注) 1 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) 特殊鋼……………鍛鋼品（ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材）

特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品（軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金）

その他（加工品、ビレット、その他）

(2) 鋳鉄……………自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品（ダクタイル鋳物、普通鋳物）

(3) 金型・工具……………各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,186	77	4,263
II 連結売上高（百万円）			40,548
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.3	0.2	10.5

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,779	28	2,807
II 連結売上高（百万円）			20,795
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.4	0.1	13.5

（注）1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… タイ、台湾、中国 他

(2) その他の地域 …… アメリカ合衆国 他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

〈参考資料〉

平成22年3月期 第3四半期決算発表

日本高周波鋼業株式会社

連結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:百万円、%)

摘要	当期 22年3月期 第3四半期	(対前年同期)		前年同期 21年3月期 第3四半期	通期予想 22年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	20,795	△ 19,752	△48.7%	40,548	28,700	△ 20,047	△41.1%
営業利益	△ 1,822	△ 2,591	—	769	△ 2,150	△ 2,015	—
経常利益	△ 1,985	△ 2,680	—	694	△ 2,200	△ 1,975	—
四半期(当期)純利益	△ 2,058	△ 2,499	—	440	△ 2,600	△ 1,039	—
売上高経常利益率	△9.5%	—	—	1.7%	△7.7%	—	—
1株当たり四半期純利益	△14円03銭	—	—	3円00銭	△17円73銭	—	—
設備投資	921	△ 64	△6.5%	985	1,100	△ 490	△30.8%
減価償却費	1,365	△ 64	△4.5%	1,430	1,800	△ 115	△6.0%

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

(単位:千トン、百万円)

摘要	当期		前年同期		増減	
	22年3月期	第3四半期	21年3月期	第3四半期	売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	16,611	△ 1,642	32,681	440	△ 16,069	△ 2,083
鑄鉄	3,172	△ 1	5,895	273	△ 2,722	△ 274
金型工具	1,011	△ 177	1,972	55	△ 960	△ 232
合計	20,795	△ 1,822	40,548	769	△ 19,752	△ 2,591

3. 経常利益増減益要因(前年同期比) 7億円 → △19億円(26億円の減益)

(単位:億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 固定費の減少	23	1. 数量・構成	57
2. 原燃料価格	21	2. 販売価格	19
3. その他	6		
計(A)	50	計(B)	76
		差引(A)-(B)	△ 26

個別

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:千トン、百万円、%)

摘要	当期 22年3月期 第3四半期	(対前年同期)		前年同期 21年3月期 第3四半期	通期予想 22年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	15,133	△ 15,281	△50.2%	30,415	21,300	△ 15,923	△42.8%
営業利益	△ 1,496	△ 1,740	—	244	△ 1,750	△ 1,512	—
経常利益	△ 1,552	△ 1,892	—	339	△ 1,800	△ 1,650	—
四半期純利益	△ 1,616	△ 1,858	—	242	△ 2,150	△ 1,397	—
売上高経常利益率	△10.3%	—	—	1.1%	△8.5%	—	—
1株当たり四半期純利益	△11円02銭	—	—	1円65銭	△14円66銭	—	—

2. 部門別売上高(累計)

(単位:千トン、百万円)

摘要	当期		前年同期		増減	
	22年3月期	第3四半期	21年3月期	第3四半期	数量	金額
	数量	金額	数量	金額		
工具鋼	20.1	5,558	44.3	12,303	△ 24.1	△ 6,744
特殊合金	8.9	5,937	13.6	11,428	△ 4.6	△ 5,490
軸受鋼	17.8	3,637	36.9	6,684	△ 19.0	△ 3,046
合計	46.8	15,133	94.8	30,415	△ 47.9	△ 15,281

以上